

ロイック・トウゼ ダンス・ワークショップ

2016年7月18日(月・祝) - 21日(木) 19:00 - 21:30

北九州芸術劇場



共催：アンスティチュ・フランセ日本 / KLC

協力：北九州芸術劇場

ロイック・トゥゼ

ダンス・ワークショップ+講演会

2016年7月18日(月・祝) - 21日(木) 19:00 - 21:30 北九州芸術劇場

「踊ることは観ること・・・。」

ロイック・トゥゼのこの言葉は何を意味するのでしょうか。この言葉の意味を問いながら、コンテンポラリー・ダンスの新たな地平線を探るワークショップです。パート1では、身体に焦点をあてながら、微妙でありながら広がりのある動きの機能について学びます。身体の動きは時間と空間の中で無限に広がります。ダンスにおける個々の動きを認識し、注意深く観察することを通じて、その先にある身体の理想的な在り方を知ることができます。パート2では、漠然としたイメージが投影された参加者個々の記憶に基づいて、2015年に制作されたロイック・トゥゼの作品「ファンファーレ」を引用し、振付における構成の関係性を発見します。

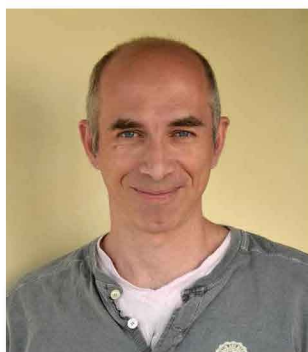
- 日 時：2016年7月18日(月・祝)～21日(木)の4日間 19:00～21:30
- 会 場：北九州芸術劇場創造工房内稽古場 北九州市小倉北区室町 1-1-11 リバーウォーク北九州6F 電話 093-562-2655
- 対 象：ダンス経験者、振付家、ダンス指導者
- 定 員：16名程度
- 受講料：12,000円
- お申込：①氏名 ②住所 ③年齢 ④メールアドレス ⑤電話番号 ⑥志望動機 ⑦ダンス歴 をお書き添えの上、メールにて以下までお送りください。
jironemoto297@gmail.com 担当：根本 / 電話 090-4161-9038 (締切：7月15日)

ロイック・トゥゼによる講演会

ロイック・トゥゼが芸術家として探求しているもの、そして今日のフランス・コンテンポラリーダンスにおける文脈について語ります。

- 日 時：2016年7月18日(月・祝) 15:30
- 会 場：アンスティチュ・フランセ九州
- 料 金：1,000円(但しワークショップ受講者は無料)
- お申込：アンスティチュ・フランセ九州 福岡市中央区大名 2-12-6 電話 092-712-0904

LOÏC TOUZÉ ロイック・トゥゼ



フランスのダンサー兼振付家。パリ・オペラ座バレエ学校で学び、その後パリ・オペラ座バレエ団に入団する。1986年にコンテンポラリー・ダンスを学ぶためにバレエ団を退団する。ダンス、音楽、視覚芸術など様々な分野でアーティストと共演する。2001年から2006年まで、フランスのオーベルヴィリエ芸術センターの副館長を務める。マチルド・モニエや作家タンギー・ヴィールと Nos Images を制作、ヒップホップダンサージャスミン・ラフマニと Gomme を制作する。またアクロバットを取り入れた作品も制作している。また彼のグループのために多くの作品を制作しており、2015年にはジェスチャーの手法を取り入れた6名のダンサーによる作品ファンファーレを制作した。2010年以降はナントに居を構え活動をしている。フランスだけでなく、ロシア、オーストリア、ブラジル、アルゼンチン、ポルトガルなどの海外でも、ダンサー、役者、建築家などを対象に、定期的に指導を行っている。